

常設展示

商品



当初は貿易商品のサンプルと商品の原材料標本が収集されましたが、その後、地方物産品の収集が始まり、現在では陶磁器、漆器、染織品などの伝統的工芸品を展示しています。かつて秘密のバールに隠されていた原材料と製造過程は、価格形成上の要因として付加

価値を示す根拠でもあります。展示では、卓越した職人技と地域色に価値付けられた少量・多品種による高付加価値商品としての現状を紹介しています。

刑事



過去にあった残酷で非人間的な拷問や刑罰を批判的な視点から回顧し、法と刑罰の歴史を学び現代の法と社会を考えるきっかけとするため、古代から近世の刑法典や江戸時代の警察・裁判・刑罰に関わる資料を紹介しています。御成敗式目、今川仮名目録など著名

な刑法典の数々、高札、長柄三道具や十手・捕り縄など江戸時代の捕者道具と、取調べの過程で使用された拷問具、刑罰具や近代の死刑具や海外の刑罰具などの復元資料も展示しています。

考古



日本列島における旧石器時代存在を初めて証明した1949年の岩宿遺跡発掘以来、日本考古学の発展を担った明治大学による数々の調査の歩みと成果を展示。岩宿の石器(重文)、集落研究の先駆砂川遺跡の石器(重文)、縄文時代の開始時期を大きく遡らせた夏島貝塚出土資料(重文)、亀ヶ岡式土器と遮光器土偶、稲作開始期の板付式土器、深草遺跡の石包丁、出流原遺跡の再葬墓関係資料(重文)、玉里舟塚古墳の大型埴輪群(写真)などがあります。

明治大学博物館友の会

講演会、見学会、自主学習会、会員間の交流イベントなどを実施するとともに、明治大学博物館のパートナーとして各種ボランティア活動を展開しています。活動内容や会員募集など、詳しくは館内で配布のリーフレットもしくは当館ホームページをご参照ください。

来館案内

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開館日時や時間を変更することがあります。来館時にはホームページで最新情報をご確認ください。

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 8月10日~16日 12月26日~1月7日
8月の土・日曜に臨時休館があります

交通 JR御茶ノ水駅徒歩5分
地下鉄新御茶ノ水駅徒歩8分
地下鉄神保町駅徒歩10分

住所 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学アカデミーコモン地階
TEL.03-3296-4448 FAX.03-3296-4365
ホームページ <https://www.meiji.ac.jp/museum/>

Open Daily
10:00~17:00(Last admission 16:30)

Closed on
10~16 August, 26 December~7 January
Temporary closed day in August. Please ask us.

Admission
Regular exhibition: Free
Special exhibitions: Fee varies according each exhibition

Transportation
5min walk from the JR Ochanomizu Sta.(JC03/JB18)
8min walk from the Subway Shin-Ochanomizu Sta.(C12)
10min walk from the Subway Jimbo-cho Sta.(I10/S06/Z07)

Address
Meiji University Academy Common Building,
1-1 Kanda-Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo-to 〒101-8301



明治大学博物館 展覧会案内 2021



1881



2021

「校友山脈—明治大学の教育と人材—」展



Exhibition Program of Meiji University Museum, 2021

新収蔵・収蔵資料展 2020－2021

入場
無料

3月23日(火)～4月24日(土)

主催: 明治大学博物館

2019・2020年度に博物館が新たに収集・受贈した資料ならびに関連する収蔵資料を紹介します。江戸時代の幕府領や藩領における入墨刑を描いた『諸国御仕置墨鑑』(刑事部門)、山陰地方の焼き物のマーケティング研究の成果収集物である布志名焼雲善窯の抹茶碗(商品部門)、朝鮮半島製の可能性が高く、日本列島における成立過程を考える上でも注目される細形銅剣(考古部門)等と、関連する収蔵資料を展示します。



細形銅剣(紀元前3世紀頃)

因・伯・雲のやきもの —山陰の手仕事から

入場
無料

4月30日(金)～5月31日(月)

主催: 明治大学博物館

2016～2018の3ヶ年度にかけて実施した山陰地方の陶業についての調査成果報告展。かつて1950年代末から60年代にかけて収集した鳥取県及び島根県出雲地方の陶器製品を再評価し、また、近年人気の出てきた民藝のテーブルウェアに着目しました。大名茶人松平不昧で知られる松江藩御用の系譜を引く窯元から、民藝運動の影響によって独特の個性を確立した窯元まで。まとまった規模の産地こそ未形成ながら、実にバラエティに富んだ山陰地方の陶器製品の数々についてその動向を紹介します。



牛ノ戸焼(鳥取県)染分尺皿
1965年収集

絵図が語る内藤藩の歴史

入場
無料

6月10日(木)～7月7日(水)

主催: 明治大学博物館

江戸時代に岩城平(現・福島県いわき市)、延岡(現・宮崎県延岡市)などを領地とした7万石の譜代大名内藤家。明治大学博物館は、この内藤家が伝えた江戸時代の記録—古文書—を収蔵しています。本展示会では、貴重な古文書の中から絵図をとりあげます。城絵図や江戸の屋敷図、広域の領地を描いた地図、海岸線の絵図、領地の変更に伴って描かれた絵図など、さまざまな絵図に文字記録などを組み合わせて、内藤藩の歴史を描きます。



「日向延岡領海岸絵図」(内藤家文書)

シェイクスピア・グローブ座の展開と 明治大学 特別展(仮)

Shakespeare's Globe × Meiji University Special Exhibition

入場
無料

11月11日(木)～12月17日(金)

主催: 明治大学文学部 / 共催: 明治大学シェイクスピアプロジェクト

シェイクスピア(1564-1616)は、没後400年を経ても、時代や空間や文化を越えて、現在の観客の心に届く劇作品を多く残し、また、実際世界中の舞台上で上演され、多くの観客に楽しまれています。ロンドンのグローブ座(Shakespeare's Globe)は、400年前にシェイクスピアが活動の拠点としていた劇場を、シェイクスピア劇を上演することを目的として、400年前の遺跡そばに1997年に建設され、現在に至るまでシェイクスピア劇の上演を続けてきております。このグローブ座の活動を、特にそのアウトリーチ活動であるGlobe to Globe活動(グローブ座から世界へ)を中心に紹介していく予定です。



グローブ座の舞台

明治大学大学史資料センター・ 明治大学博物館共同企画

明治大学創立140周年記念事業

2021年度特別展 校友山脈

—明治大学の教育と人材—

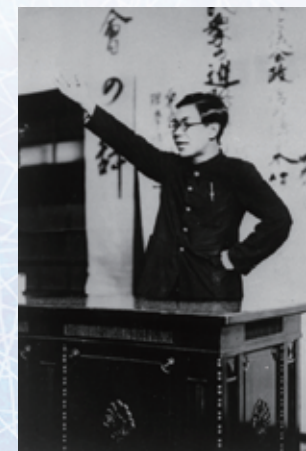
7月31日(土)～11月3日(水・祝)

入場
無料

主催: 明治大学

本学が1881(明治14)年に創立して以来、送り出した卒業生は50数万人にも及びます。卒業生たちは本学での学びを糧に各界で活躍し、人類社会の基盤構築に貢献するかたわら、「校友」として本学の発展にも寄与してきました。今回の特別展では、明治大学創立140周年を記念し、「顕著な業績を残した校友の群像」と、校友を育んだ「明治大学の教育」という2つの視点を通して、本学が人材育成の面から近代社会に果たした役割を考えます。

*リバティタワーの中央図書館ギャラリー他でも小説家などをテーマにした関連展示を行います。



雄弁部演説会での
三木武夫(1927～28年頃)



古賀政男愛用のギター
(同型品、1970年代頃)